

通木

Komorebi Tsushin

第16号

平成16年4月

つきだて花工房発
季刊誌

〒960-0903 福島県伊達郡月館町大字下手渡字寺窪7
TEL024(573)3888 FAX024(573)3887

E-mail: hanakobo@safins.ne.jp

休館日/毎月第1、第3次曜日(休館日の前日は17時まで営業)

つきだて花工房ホームページ <http://odehime.or.jp/hanakobo>

○つきだて花工房は木もれ日のようなぬくもりとやさしさを持ち続ける皆様の公共施設をめざします。

花のアルバム

アルバムの
16ページ

クリスマス
ローズ

黄色やピンクの野花に
畦道が縁取られていく。
春は様々な生命が
誕生する季節。
やわらかな風が
土の匂いを運んでくれた。
めぐる季節の
はじまり、はじまり。



「慰め」です。

クリスマスローズの花言葉は「追憶」

天使が運んでくれた花
クリスマスローズの歴史は、紀元前
まで遡り、神話や伝説も数多く残
されています。「ベツレヘムの牧人の娘
が、キリスト誕生の祝いに捧げる物が
無く悲しんでいると、そこに天使が
現れて、一面に純白のクリスマスローズ
を咲かせてくれました。早速、その
花を摘んで差し出すと、イエスは黄
金や宝物ではなく、その花に手を伸
ばし、少女を見つめて微笑みました。」

天使が運んでくれた花

つきだて花工房のロックガーデンに、
毎年春の訪れを告げてくれる花が
あります。その花は「クリスマスローズ」。
名前を聞くと季節はずれのような
感じがするその花は、2/3月、冬枯
れの庭にうつむきかげんに咲きはじ
め、ひと足早い春をそと教えてく
れる心やさしい植物です。
クリスマスローズは、福寿草や節分
草と同じキンポウゲ科の宿根草。ヨ
ーロッパでは二重のバラに似た花がクリ
スマスの頃に咲くので、この名前がつ
けられました。花びらに見えるのは、
がく片で、本当の花弁は雄しべの元
のところに小さく集まって咲いてい
ます。

待ち遠しい五月

クリスマスローズの花が終わると、
いよいよ春本番。ハーブの香りに包ま
れた浴室から眺めるロックガーデンに
は、次々と愛らしい花たちが登場し
ます。

フクロソウ、ツボサンゴ、ペロニカ、スカビ
オサ、アルメリアなどはゴールデンウイ
ークに見ごろを迎えることでしょう。
花を愛で、ハーブの香りでリラククス
。目にも体にもやさしいつきだて花
工房のお風呂は、きつと心にもビタミ
ンを補給してくれると思います。

うれしい四月



小手小学校児童の登校風景

4月、大きめの新しいランドセルを
背負い、ちよつと緊張したようすで
初めての校門を入れていく小学1年
生。入学式の光景だけは昔も今も
変わっていないような気がして、ふと
懐かしさが甦ります。そして、毎年
同じことを考えるのです。「どうし
て小学校の校門には桜の樹があるの
でしょう」と…。

新しいご本、新しいかばんに。

新しい葉っぱ、新しいえだに。

新しいお日さま、新しい空に。

新しい四月、うれしい四月。

(金子みすゞさんの詩)

清らかに咲く花々の季節

つきだて花工房より

春風を贈ります

つきだて花工房の主役はお客様さま
大切な日の集いにはいつも
早春のような輝きと
春風のような温かさがあふれていました



福島県文学賞受賞祝賀会



教諭時代のお仲間菅野先生を囲んで

月館町町史編纂室長、渡辺義明先生の教諭時代の友人菅野五郎先生が、回顧録「母よ、我、未だ健在なり」で栄えある福島県文学賞を受賞され、その祝賀会がつきだて花工房で行われました。

久しぶりに顔を会わせた先生方は、お互いの健康を喜び合い、楽しくお酒を酌み交わし、受賞のお祝いをされました。



さらに、伊藤武志先生が翻訳された「わんぱくデニス」の出版の報告は突然だったようで、皆さん驚かれ、祝賀会はいちだんと盛り上がった様子でした。

追伸*渡辺義明先生が手がけておられる月館町史(近・現代)が近日発

ご結納

山形県鶴岡市の小笠原家と川俣町の菅野家がめでたくご結納を交わされました。その日は春の陽射しがやわらかく、新たな絆を結ぶ両家を包み込むような穏やかな日和となりました。

ご結婚後のお住まいは大会、東京とのことです

が、米どころ庄内平野と雄大な山々を持つ鶴岡、ゆるやかな阿武隈山系に抱かれた絹の町川俣の自然は、都会では買えない



シリーズ それぞれの時代

月中四六会の皆さま

恩師、佐々木広先生を囲んで、月館中学校卒業四六会の皆さまがつきだて花工房に集いました。

四六会の卒業生は総勢160人、ちなみに今年の卒業生は49人だったそうです。少し驚いたことは中学校の部活動に「社交ダンス部」があったということ。また卓球部は「ピンポン部」と呼ばれていたそうで、どこか古き良き時代を思わせるお話でした。

さて、幼き日の姿が写ったセピア調の1枚の写真を入手しました。「髪型はもれなくおかつば」という時代のようなです。昭和の懐かしい遊

ない宝物。いつの日も忘れることなく、温かいご家庭を築いてください。

後になりましたが、遠方よりお出かけくださった小笠原家の皆さま、ありがとうございました。

「虹の会」結成10周年の集い
大広間から聞こえてくる朗らかな笑い声は、霊山町大石地区のスポーツ民謡サークル「虹の会」の皆さま。会長の大橋幸子さんを中心に日頃から稽古に励み、その成果を太鼓まつり、文化祭で披露されるほか、時には老人施設も訪問されます。



写真:昭和36年頃
農繁期には臨時に季節保育所が設置され一家総出の田仕事が行われた時代があった。

びには、石けり、缶けり、メンコン、ピー玉、馬とびなど。天真爛漫に時間を忘れて遊んだ「あの頃」は、子供が子供らしくいられた時代。「見豊かに思える現代には失われてしまった、大切なものと元気が、いっばい詰まっていた時代のようです。



自然と元気が湧いてくる感じ:きつと、訪問を期待しているファンも多いことでしょう。おじいちゃん、おばあちゃんとの「虹の掛け橋」となる舞踊活動、これからも大いに期待しております。

つきだて花工房のうちはげばなし

「おじいちゃん、おめでどうございます！」
思いもかけない、突然のお孫さんからの花束贈呈に半沢さんの目頭が熱くなる、会場は温かい空気に包まれた。
老舗「松月堂支店」を営みながら、忙しい仕事の合間をぬって、愛宕スポーツ少年団ソフトボール部の監督を務められてきた半沢万徳さんが、このたび全国体育指導委員連合功労者表彰を受賞され、その祝賀会がつきだて花工房で行われた。

月館町にスポーツ少年団が発足したのは昭和47年。以後30余年に渡り月館町のスポーツ振興に熱心に取り組み、数多くの子供たちを育て上げてきた。その一途な活動は子供たちへ注ぐ深い愛情と、スポーツに賭ける強い精神力無くしては続かない。

お祝いの言葉に「奥様の陰の力に支えられた二人三脚での表彰」とあったとお子、息子さんと夫婦と女の子ばかりの愛らしいお孫さんに囲まれた半沢さんの傍らには、遠慮がちな奥様の姿があった。

今日も月館小学校のグラウンドに半沢監督の声が響いている。少年達と監督がひとつの白いボールを追いかけている...、淡い光に包まれてプレーする光景は、まさに陽だまりのグラウンドだった。



受賞を喜ぶ半沢万徳さんと家族

ちょっとうれしい週末プログラム

- 里山ファクトリー 木の人形や、木の動物をつくろう(午前9時~午後4時)
- 青空キッチン 農園産野菜を収穫し、その場でクッキング。(不定期・要問い合わせ)
- やさしい工房 毎日営業:つきだて産新鮮野菜の販売(午前9時~午後5時)

手づくりりって とっても愉快!



小手小学校2年生、3年生の児童が大豆をわらに入れて土の中に埋める昔ながらの手法で納豆づくり挑戦しました。



「じょうずにできたよ!」と、花工房に報告に寄ってくれました。元気な笑顔は、納豆パワーかな?!

もりもり農園手づくりマニュアル

納豆編

材料：大豆

- 準備する物：鍋、わら、スコップ、薪
- 大豆を茹でる(親指と小指ではさんでつぶれるくらいやわらかくなるまで)
 - わらでつっこをつくり、ゆでた大豆を温かいうちに詰める。
 - 畑に穴を掘り、薪を燃やし地を温める。
 - 火が消えたら全体に薬を敷き、つっこを入れ、土をかけて地中で寝かす。
 - 3、4日後つっこを取り出す。

開けて見ると、ねばねばと糸を引く、立派な納豆ができあがっていますよ。

納豆づくりの思い出

もりもり農園 千葉紀男

久方ぶりに素直な子供たちに出会えた気がしてホッとする。

小手小学校の2、3年生は全員で6名。少子化を実感。しかし、ひとりひとりにじっくりと作り方の指導ができて良かった。

まず、自家製の大豆をゆでる。その間に子供たちに、納豆の容器となるつっこづくりを指導する。悪戦苦闘していたが、それでもみんな楽しそうだった。どうにかでき上がったつっこに温かい大豆を詰める。詰めながら子供たちがバクバクと茹でた豆を食べており、その光景が何とも微笑ましかった。いよいよできたつっこを土にうめる。

「おいしい納豆ができますように」と、子供たちが手をあわせる。なんと純粋な心を持つ子供たちだ。

3日後、いよいよ食べてみる。子供たちの目の輝きが違った。反応はどうだろうか?

「おいしい」と言い、子供たちははつっこ一本の納豆をあつという間に食べ終えた。うれしかった。

引率の先生も感動していた。「薬に大豆を入れただけで納豆ができるなんて、だれが考えたんでしょうね。昔の人の知恵はスゴイ」今回の納豆づくりは、大人にも子供にも新鮮な驚きがあったようだ。子供たちよ、この日の思い出を大人になっても忘れないでいてほしい。

手づくりが失われつつある現代から、手づくりが見直される時代になることを願い、これからも自分のあるだけの知恵を後世に伝えていければ幸い。そしてひとりでも多くの方が、もりもり農園の手づくりスタイルに興味を抱き、ワイワイと農園に集っていただけることに、夢が膨らむ今日の頃である。

秋山料理長の、旬を楽しむ 春のひとしな 新筍と鶏肉の 山椒煮



材料

- A・鶏もも肉(口切)：100g/150g
筍(適切)：150g/200g
・生椎茸(半切)：3ヶ
木の芽(山椒の芽)・水溶性片栗粉：少々
調味料
①だし汁：200cc・酒：30cc・砂糖：20g
②醤油：50cc・味噌：50cc・粉山椒：適量
●作り方
①材料Aと調味料①を火にかける。
②鶏肉などから出るアクをしっかり取って調味料②を入れる。
③落し蓋をして焚く。沸騰したら弱火にして10分(汁が半分位になるまで)焚き、一度火を止めて冷ます。
*冷ますことで材料に味が入ります。
④もう一度火にかけて、味をととのえる。
⑤水溶性片栗粉でとろみをつけて(煮詰めても可)できあがり!
⑥器に盛り、木の芽をかざる。
◎ワンポイント
筍は特に味が入りにくい食材です。必ず一度火を止めて冷ましてください。
切り方は穂先の方は縦切り、根元の方は横切りにした方が食感が良いです。

つきだて花工房 リーディング・アラウドの会 会員募集!

始まりの春、
いっしょに始めましょう。
声を出して本を読むこと…

- 好きな絵本や童話を紹介しあいませんか
- 毎晩、寝る前にお子様の本を読んであげませんか
- 本を通じてコミュニケーションを深めませんか

入会のお申込みは
つきだて花工房 まで
電話024(573)3888 担当:山崎

菅野夕起子先生のハーブと暮らし ハーブ調味料●ハーブソルト

(素材の味を引き立て、どんな料理にも大活躍)

●材料
ドライハーブ(ローズマリー、タイム、セージ、マジョラム、オレガノ適宜)・ブラックペッパー(適宜)・自然塩(100g)

●作り方
1、ドライハーブは細かく刻むか、乳鉢すり鉢で砕く
2、自然塩はフライパンでから炒りする。
冷めてからドライハーブを加え、よく混ぜ合わせる。

香草焼き

野菜、肉、魚などにハーブソルトを振ってオーブオーイルで焼くだけで美味しい香草焼きが出来ます。
密封すれば半年以上保存ができます。

つきだて花工房の売店コーナーが 新しくなりました。



広がったフロントのカウンターがちょっとコンパクトになり、売店コーナーが広がりました。地元産品はもちろん、かわいいう木エグゼ、癒しのハーブグッズ、話題の桑商品、ポストカードなどにCDも少し加わりました。是非お出かけください。

企画
パロック音楽との出会い
チェンパロコンサート
東京都からチェンパロ奏者山崎充子さんをお迎えします。楽器の成り立ちやパロック音楽の特徴などのお話をうかがいながら、時代は17世紀にタイムトリップ。

はみだし コーナー

花工房BGM ●Classical ever! one/風のワルツ(加古隆)
花工房ライブラリー ●赤毛のアンのカントリーノート/映画の昭和雑貨店

春・百人一首(春)
ひさかたの 光のとけき 春の日に しづ心なく 花の散るらむ
*意味:日の光のどかな春の日に、どうして心せむく桜の花は散っているのだろう。

風薫る季節

端午の節句
まめ辞典



爽やかな風が吹き始め、
木々の緑がまぶしい季節。
5月5日は「端午の節句」。
子供の健やかな成長を祈るこの行事は、
中国から伝来し
奈良時代から行われている伝統行事です。

菖蒲(しょうぶ)

〔サトイモ科の多年草。池や湿地に生育初夏
葎の中心に黄色の小花を棒状に密生させる〕



菖蒲は「勝負」「高
武(武徳を尊ぶ)」
にかけて、昔から端
午の節句には欠か
せない植物です。菖蒲の葉が剣の先
のように尖っていることや、強い香気を
放つことから、尚武の気風を養い、邪気
を払うとされました。

軒菖蒲・菖蒲湯

軒にさし履よけとして使われたり、
屋根の上に置くことによつて邪気や疫
病を払うとされました。またお風呂
に入れて体を清め、疲れを取りました。

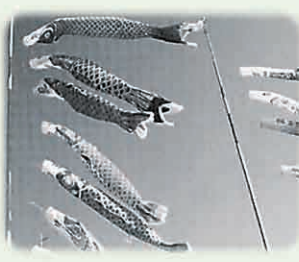
菖蒲湯の効能

鎮痛、血行促進作用があり、神経痛
やリウマチ、腰痛にも効果があります。

端午の節句には、ちまきや柏餅などの他に蓬を摘んで蓬餅なども作り、神様(特に田
の神)に捧げ、豊かな実りを祈りました。
忙しくなる田植え前の「休養」と「楽しみ」を兼ねた祭事でもあったようです。
ゴールデンウィーク最終日、端午の節句が終わりに連休明けの6日は「立夏」。暦の上では
夏になります。

雲の波と雲の波
重なる波の中空を
橋かおる朝風に
高く泳ぐや 鯉のぼり

鯉のぼり 作詞作曲不詳



柏(かしわ)

カシワには「葉守
りの神」が宿るとい
われる縁起の良い
木です。カシワの葉
は落葉することなくそのまま冬を越
します。茶色くカラカラになりながら
も枝について落ちないのが不思議です。
春が来て新芽が出るとき初めて落葉
することから、子孫を絶やさない縁起
ものとして珍重されました。



この葉で作られる柏餅は室町末期頃
から広く食べられていたそうです。
柏の名の由来(音はご飯茶碗だった)
鍋、釜がない時代、人々は身近な葉
っぱを煮炊きに使いました。炊ぐ葉っ
ぱ(ご飯を炊く葉っぱ)が転じて「カシ
ワ」と呼ぶようになったと言われてい
ます。



月館町:長谷部真智子様

春は門出の季節です。出会い有り、
別れ有り、ちよつぱり複雑な季節で
もありますね。

先

日は大変有意義な祝賀会(福島県文
学賞受賞)をすることができました。
「花工房」の朝の空気が大変おもしろいこと
と、職員の暖かい雰囲気を楽しみ閉幕がで
きこと、大変うれしく思っております。山
百合の花が大変きれいな所と聞いており
ます。機会があったら、またお世話になり
たいと思っております。(福島市高橋充雄様)

花

お仲間につきだて花工房を是非紹
介したいと、祝賀会の企画にお骨折
りくださった渡辺義明先生に心より感謝
申し上げます。和やかに、楽しくお過ごし
いただけただようでホッといたしました。

冬

冬野菜セットが届いて驚きました。ふ
るさとがとても懐かしく想われまし
た。おかげさまで良いお正月を迎えること
ができました。(千葉県寺島光世様)

花

お野菜は月館の土の香りがしまし
たか? もりもり農園もいよいよ活
動再会の季節で、スタッフもワクワクしてい
ます。

はなくらぶ
ムーン講座
受講者募集

自分自身と向き合う時間を提案します。

●絵手紙教室
日程 4月19日・5月17日・
6月21日 すべて月曜日

〔受講料〕1,000円(1回)
〔時間〕午前10時から
〔講師〕和田恵秀先生
●癒しと健康の講座
(アロマセラピー教室)
ルームスプレーと入浴剤づくり
日程 5月10日(日)
〔参加費〕2,000円(材料費含)
〔時間〕午前10時から
〔講師〕井上夕子先生
お申し込みは☎024(573)3888
はなくらぶ係まで

木もれ日通信16号
読者プレゼント

花工房の温室で
キャットミントが
元気に育っています。
さて、このハーブは
何色の花が咲くでしょう。



①むらさき ②ピンク ③黄色

正解者の中から3名様にプレゼントを
お贈りいたします。

官製はがきに住所・氏名・年齢を記入
プレゼント応募券を貼ってつきだて花工
房までお送り下さい。4月30日の消印ま
で有効。

*葉わさび瓶詰め三点セット(1名様)
*ローズヒップティー1入(2名様)

15号「コトイヤー」プレゼント当選者発表!
齋藤美咲様(保原町)、鈴木美樹様(仙台
市)、太田和子様(横浜)、占川明彦様
(佐賀県)、前野さと子様、伊東恵子様、
野寄トキ子様、矢館家典様、佐藤キクヨ
様、渡辺登志子様(月館町)
おめでとうございます。

インフォメーション
●森林公園&ごもまつり
4月29日(木)みどりの日
(月見館森林公園)
●月館赤木神社お田植え祭り
5月23日(日)
●つきだてリライフエスタ
7月17日(土)18日(日)
*詳細は次号でお伝えします



芽吹き季節の風景は驚くように変化します。

編集後記

爽やかな季節となりました。お天気の良い
朝は、青く澄んだ広い空を仰ぎ、両手を
広げて瞳を閉じてみます。ゆっくり呼吸を
すると自然からのエネルギーが体の中に注
がれる感じ。太陽の温かさや、風のやわ
らかさがうれしいです。

これからの季節は野山の風景が毎日変
ります。花や樹や、さまざまな生命が謳歌
し、人も含めたすべてのモノたちに平等な
時間が流れていることを実感します。この一
瞬が2度と戻らないと思つて過こせたら、足
元に咲く小さな花にも感動が見えてくる
のでしょうか。そんな感動を大切にしたい
と思います。(佳代)

ムーンセラピー
月の明かりで疲れた
心を癒したい。
いまずかカレンダーにチェック!!

4月5日(月) [満月の夜]
5月5日(水)
6月3日(木)

4月19日(月) [新月の夜]
5月19日(水)
6月18日(金)

●つきだて花工房の休館日
4月6日(火)20日(火)、5月11日(火)、18日(火)、6月1日(火)、15日(火)
※5月の休館日が変則になっています。ご注意ください。

木もれ日通信16号
読者プレゼント
応募券